

# 福島第一原子力発電所20km圏内海域における魚介類の測定結果

## 資料3-2

2025年12月25日  
東京電力ホールディングス株式会社

### I. 港湾外20km圏内モニタリング結果概要（セシウム）

今回のまとめ

- 1 採取日 2025年6月21日 ～ 2025年9月18日
- 2 地点数 11地点
- 3 総検体数 30種153検体（クロソイの検体数：2検体）
- 4 不検出数 153検体（100%）

2025年6～9月に東京電力が実施した福島第一港湾外における魚介類のモニタリングのうち、セシウム濃度が検出された魚介類は無かった。

採取地点	採取日	魚種	全長(cm)	体重 (kg)	セシウム合計 Bq/kg(生)
—	—	—	—	—	—

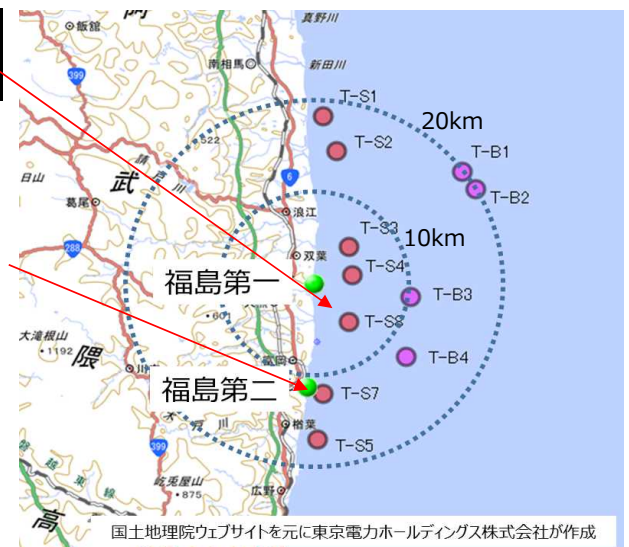


表1 放射性セシウム濃度が100Bq/kgを超えた検体数・割合と不検出の検体数・割合

年	月	全体数	100Bq/kg 超		検出～100Bq/kg		不検出	
			検体数	%	検体数	%	検体数	%
2011年	-	3	0	0.0	2	66.7	1	33.3
2012年	-	1197	389	32.5	654	54.6	154	12.9
2013年	-	1086	133	12.2	713	65.7	240	22.1
2014年	-	1104	15	1.4	616	55.8	473	42.8
2015年	-	1087	3	0.3	501	46.1	583	53.6
2016年	-	1183	2	0.2	411	34.7	770	65.1
2017年	-	1270	2	0.2	245	19.3	1023	80.6
2018年	-	1211	0	0.0	116	9.6	1095	90.4
2019年	-	1002	0	0.0	62	6.2	940	93.8
2020年	-	940	0	0.0	54	5.7	886	94.3
2021年	-	854	0	0.0	31	3.6	823	96.4
2022年	-	801	0	0.0	19	2.4	782	97.6
2023年	-	737	0	0.0	12	1.6	725	98.4
2024年	-	750	0	0.0	9	1.2	741	98.8
2025年	4月	72	0	0.0	1	1.4	71	98.6
	5月	75	0	0.0	2	2.7	73	97.3
	6月	78	0	0.0	0	0.0	78	100.0
	7月	63	0	0.0	0	0.0	63	100.0
	8月	45	0	0.0	0	0.0	45	100.0
	9月	45	0	0.0	0	0.0	45	100.0
合計		13603	544	-	3448	-	9611	-

図1 測定回数と基準値超え・不検出の割合の経時変化

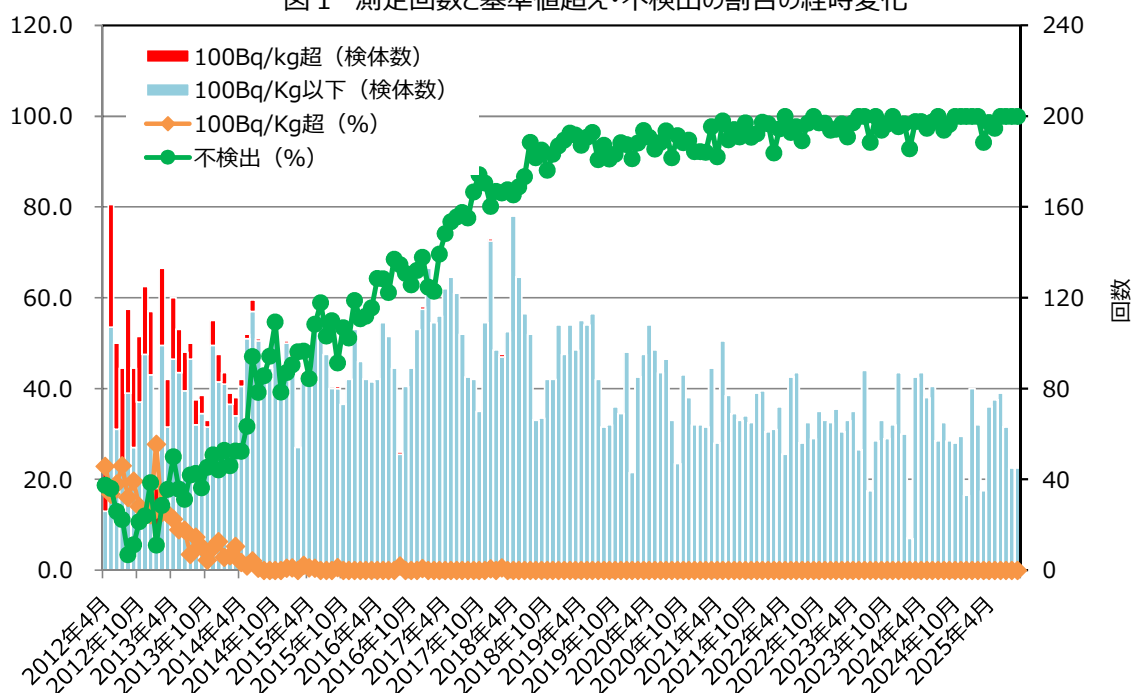


表2 モニタリング実績

- ・魚種数：35種 検体の種類数
- ・2025年4月～2025年9月に採取

分類	魚種名	分類	魚種名
魚類	アカエイ	魚類	ニベ
	イシガレイ		ババガレイ
	オオクチイシナギ		ヒラメ
	カスザメ		ブリ
	カナガシラ		ホウボウ
	ガンゾウビラメ		ホシエイ
	キアンコウ		ホシザメ
	キツネメバル		マアジ
	クロソイ		マイワシ
	クロダイ		マコガレイ
	コモンカスベ		マゴチ
	ショウサイフグ		マサバ
	シロメバル		マダイ
	スズキ		マトウダイ
	シログチ		ムシガレイ
	ソウハチ		メイタガレイ
	タチウオ	甲殻類	ガザミ
	チダイ		

## Ⅱ. 定点モニタリング結果概要（トリチウム）

### （1）魚の測定結果（トリチウム（H3））

2025年3月～2025年5月に採取したヒラメ・カレイ類のトリチウム濃度の測定結果を示す。

組織自由水型トリチウム（FWT)の濃度は、採取地点の海水のトリチウム濃度と同程度、有機結合型トリチウム（OBT)はすべて不検出であった。

採取地点		採取日	魚種	全長 (cm)	体重 (kg)	組織自由水型 トリチウム (Bq/L)	有機結合型 トリチウム (Bq/L)	海水(H3) (Bq/L)	期間中における海水の 平均値と幅	
									平均値(検出 値の平均値)	Dec-25
20 km 圏内北側	T-S1	3月	-	-	-	-	-	ND(0.067)	0.076	ND ～ 0.081
		5月8日 (4月分)	ヒラメ	80.6	7.36	0.081	ND(0.22)	ND(0.069)		
				46.6	1.03					
				43.6	0.85					
	5月22日	ヒラメ	76.2	6.27	0.075	ND(0.25)	0.071			
	T-S2	3月	-	-	-	-	-	ND(0.067)		
		5月8日 (4月分)	ヒラメ	61.1	3.07	0.092	ND(0.22)	0.081		
5月22日		ヒラメ	65.1	3.66	ND(0.068)	ND(0.25)	ND(0.067)			
10 km 圏内	T-S3	3月27日	ヒラメ	57.2	2.24	-	-	0.72	0.36	0.077 ～ 0.89
		4月25日	ヒラメ	61.8	2.69	0.096	ND(0.22)	0.35		
				46.3	1.01					
				52.2	1.86					
		5月15日	ヒラメ	58.0	2.43	ND(0.069)	ND(0.25)	0.082		
				60.8	3.08					
	55.7			2.29						
	T-S4	3月27日	ヒラメ	51.0	1.49	-	-	0.60		
		4月25日	ヒラメ	80.6	7.30	0.070	ND(0.22)	0.30		
		5月15日	ヒラメ	57.1	2.33	ND(0.068)	ND(0.24)	0.097		
				57.9	2.71					
	T-S8	3月27日	ヒラメ	49.6	1.42	-	-	0.89		
				77.6	6.50	0.090	ND(0.26)	0.077		
				54.3	1.90					
		56.2	2.21							
		5月16日	ヒラメ	50.8	1.60	0.087	ND(0.26)	0.083		
62.5				3.12						
55.1	2.19									
20 km 圏内南側	T-S5	-	-	-	-	-	-	0.069	0.070	ND ～ 0.070
		-	-	-	-	-	-	-		
		5月22日	対象魚なし	-	-	-	-	0.070		
	T-S7	-	-	-	-	-	-	ND(0.081)		
		-	-	-	-	-	-	-		
		5月22日	対象魚なし	-	-	-	-	ND(0.089)		

－：採取中止または試料量不足により分析中止



#### 【組織自由水型トリチウム（FWT）】

- ・魚の体の水分に含まれているトリチウムのこと。  
（水として体内（組織内）を移動する）
- ・測定値は、魚を凍結乾燥して回収した水分に含まれるトリチウムの濃度であり、目標検出限界値は、0.1Bq/L未満。

#### 【有機結合型トリチウム（OBT）】

- ・魚の体の細胞組織（有機物）に含まれるトリチウムのこと。（細胞組織と結合したトリチウム）
- ・測定値は、乾燥させた魚を燃焼させたときに発生する水分に含まれるトリチウムの濃度であり、目標検出限界値は、0.5Bq/L。

※通常の海水には、0.1Bq/Lを若干下回る程度のトリチウムが含まれている。

(1) 魚の測定結果（トリチウム（H3））

2025年3月～2025年5月に採取したヒラメ・カレイ類のトリチウム濃度の測定結果を示す。

組織自由水型トリチウム（FWT）の濃度は、採取地点の海水のトリチウム濃度と同程度、有機結合型トリチウム（OBT）はすべて不検出であった。

採取地点		採取日	魚種	全長 (cm)	体重 (kg)	組織自由水型 トリチウム (Bq/L)	有機結合型 トリチウム (Bq/L)	海水(H3) (Bq/L)	期間中における海水の 平均値と幅		
									平均値(検出 値の平均値)	Dec-25	
10 k m～ 20 k m 沖合	T-B1	3月	-	-	-	-	-	-	0.15	ND ～ 0.18	
		4月22日	ヒラメ	53.8	2.22	ND(0.063)	ND(0.26)	0.18			
				45.3	1.10						
				40.3	0.79						
		5月13日 1回目	ヒラメ	51.7	1.68	0.12	ND(0.28)	0.15			
				50.5	1.57						
				41.8	0.93						
		5月27日 2回目	ムシガレイ	34.7	0.51	-	-	0.13			
				31.2	0.39						
				33.4	0.41						
				32.3	0.39						
		T-B2	3月	-	-	-	-	-			-
			4月22日	対象魚なし	-	-	-	-			ND(0.086)
	5月13日 1回目		ムシガレイ	35.0	0.48	-	-	0.18			
				26.8	0.23						
				27.1	0.24						
	5月27日 2回目		ヒラメ	50.8	1.88	-	-	0.14			
	T-B3	3月22日	ヒラメ	50.5	1.63	ND(0.064)	ND(0.25)	ND(0.075)			
				41.5	0.67						
				42.3	0.91						
		4月19日	ヒラメ	49.0	1.40	0.082	ND(0.26)	ND(0.082)			
				43.9	1.06						
				43.8	1.02						
		5月20日	ヒラメ	55.1	2.16	ND(0.078)	ND(0.31)	0.12			
				54.7	2.28						
				45.2	1.17						
	T-B4	3月22日	ヒラメ	52.0	1.68	0.10	ND(0.25)	0.12			
				43.2	0.83						
				35.5	0.46						
		4月19日	ヒラメ	57.0	2.32	ND(0.063)	ND(0.26)	ND(0.085)			
				67.8	3.98						
				43.0	0.91						
		5月20日	ヒラメ	45.1	1.15	0.090	ND(0.31)	0.16			
				46.5	1.22						
				38.1	0.62						

－：採取中止または試料量不足により分析中止



【組織自由水型トリチウム（FWT）】

- ・魚の体の水分に含まれているトリチウムのこと。  
（水として体内（組織内）を移動する）
- ・測定値は、魚を凍結乾燥して回収した水分に含まれるトリチウムの濃度であり、目標検出限界値は、0.1Bq/L未満。

【有機結合型トリチウム（OBT）】

- ・魚の体の細胞組織（有機物）に含まれるトリチウムのこと。（細胞組織と結合したトリチウム）
- ・測定値は、乾燥させた魚を燃焼させたときに発生する水分に含まれるトリチウムの濃度であり、目標検出限界値は、0.5Bq/L。

※通常の海水には、0.1Bq/Lを若干下回る程度のトリチウムが含まれている。

(2) 海藻の測定結果（トリチウム（H3）、ヨウ素129、セシウム）

- ・組織自由水型トリチウム<sup>※1</sup>の濃度は通常の海水より若干高めであるが、低濃度であり、有機結合型トリチウム<sup>※2</sup>は全て不検出であった。
- ・ヨウ素129は不検出であった。

採取地点	採取日	試料名	組織自由水型 トリチウム (Bq/L)	有機結合型 トリチウム (Bq/L)	ヨウ素129 Bq/kg(生)	セシウム合計 Bq/kg(生)
1F 港湾内 (T-K1)	2025年3月20日	ほんだわら	—	—	—	5.6
	2025年5月14日	ほんだわら	—	—	—	6.3
1F 港湾外北側 (T-K2)	2025年3月18日	ふだらく	0.16	ND(0.25)	ND(0.01)	0.32
	2025年5月15日	あらめ	ND(0.083)	ND(0.30)	ND(0.060)	0.97
1F 港湾外南側 (T-K3)	2025年3月18日	あなあおさ	0.80	ND(0.26)	ND(0.01)	2.9
	2025年5月15日	ほんだわら	ND(0.082)	ND(0.31)	ND(0.020)	0.46

ー 分析対象外



※1 組織自由水型トリチウム（FWT）

- ・海藻の茎や葉の水分に含まれているトリチウムのこと。（水として体内（組織内）を移動する）
- ・測定値は、海藻を凍結乾燥して回収した水分に含まれるトリチウムの濃度であり、目標検出限界値は、0.1Bq/L未満。

※2 有機結合型トリチウム（OBT）

- ・海藻の茎や葉の細胞組織（有機物）に含まれるトリチウムのこと。（細胞組織と結合したトリチウム）
- ・測定値は、乾燥させた海藻を燃焼させたときに発生する水分に含まれるトリチウムの濃度であり、目標検出限界値は、0.5Bq/L。

【参考】通常の海水には、0.1Bq/Lを若干下回る程度のトリチウムが含まれている。

※目標検出限界値は、総合モニタリング計画において、関係機関と整合するように設定している。

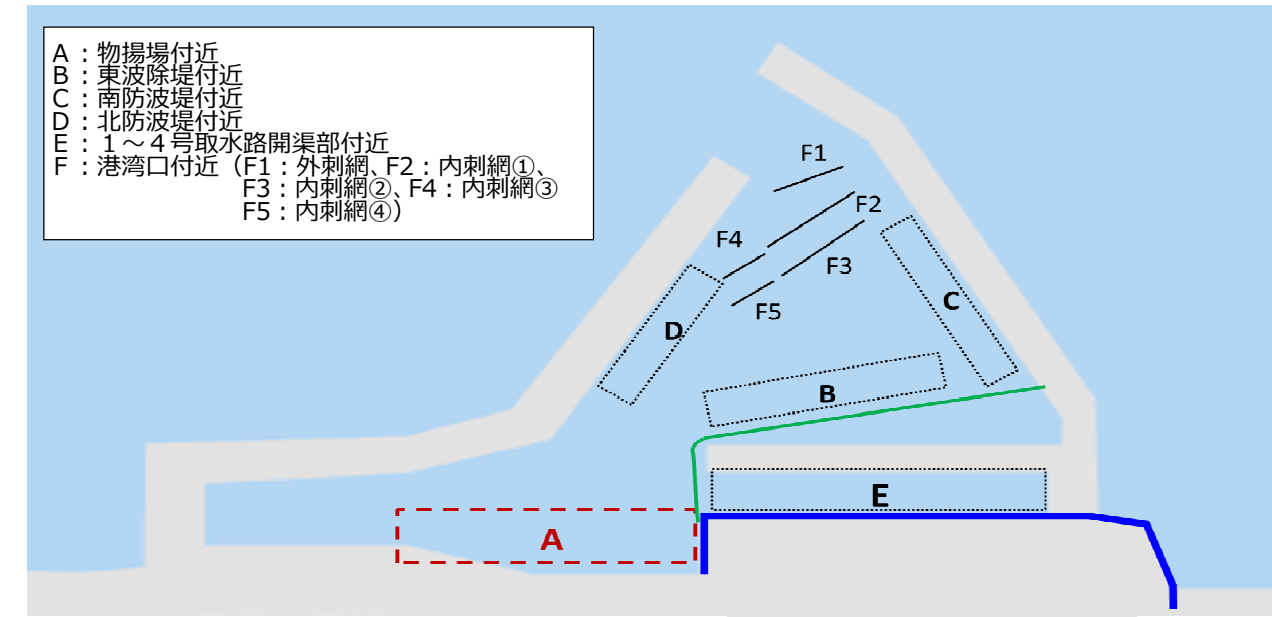
Ⅲ. 福島第一原子力発電所港湾魚類捕獲状況（速報）

A. 物揚場付近（網掛けは前回報告からの追加データ）

捕獲日	捕獲方法	捕獲魚類数 (匹)	試料名	Cs濃度（Bq/kg（生））			全長 (cm)	体重 (kg)
				Cs-134	Cs-137	Cs合計		
2022年度	はえ縄漁,かご網漁	17	クロソイ	ND(2.1)	70	70	31.5	0.442
2023年度	底刺し網漁,かご網漁	184	ウナギ	7.9	440	447.9	55.0	0.194
2024年度	底刺し網漁,かご網漁	24	アイナメ	ND(2.1)	28	28	38.5	0.750
2025年4月		0	試料採取無し					
2025年5月	底刺し網漁,アナゴ筒漁	5	マアナゴ	ND(2.3)	18	18	51.5	0.175
2025年6月	かご網漁,アナゴ筒漁	5	マアナゴ	ND(2.1)	29	29	82.0	0.815
2025/7/3	アナゴ筒漁	1	マアナゴ	ND(2.4)	24	24	82.5	0.650
	アナゴ筒漁	1	マアナゴ	ND(1.9)	30	30	73.0	0.540
2025/7/17	アナゴ筒漁	1	マアナゴ	ND(3.0)	11	11	61.0	0.290
2025/8/1	アナゴ筒漁	1	マアナゴ	ND(1.9)	17	17	87.0	0.880
2025/8/4	底刺し網漁	1	ヒラメ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/8/8	底刺し網漁	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/8/18	底刺し網漁	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/8/19	底刺し網漁	1	カンパチ	ND(2.3)	1.8	1.8	31.5	0.375
2025/8/22	底刺し網漁	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/8/25	底刺し網漁	1	カンパチ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/8/26	アナゴ筒漁	1	マアナゴ	ND(2.3)	14	14	68.0	0.475
	アナゴ筒漁	1	マアナゴ	ND(1.9)	13	13	68.0	0.475
2025/9/5	底刺し網漁	1	マゴチ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/9/11	アナゴ筒漁	1	マアナゴ	ND(2.3)	13	13	60.0	0.300
2025/9/12	底刺し網漁	1	スズキ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/9/16	底刺し網漁	1	スズキ	ND(2.3)	3.0	3.0	40.0	0.510
2025/9/25	アナゴ筒漁	1	マアナゴ	ND(2.9)	8.6	8.6	60.0	0.320

※NDは検出限界値未満、括弧内は検出限界値

魚類捕獲場所



A. 物揚場付近

- ・移動防止のため網は常時設置しているが、試料採取のため、刺し網を揚げる回数を週3回としている。
- ・底刺し網(カレイ網(4.5寸目)、メバル網(2.5寸目)、多重網(2.5寸目,4.5寸目))：3回/週、かご網：1回/週、アナゴ筒：1回/2週

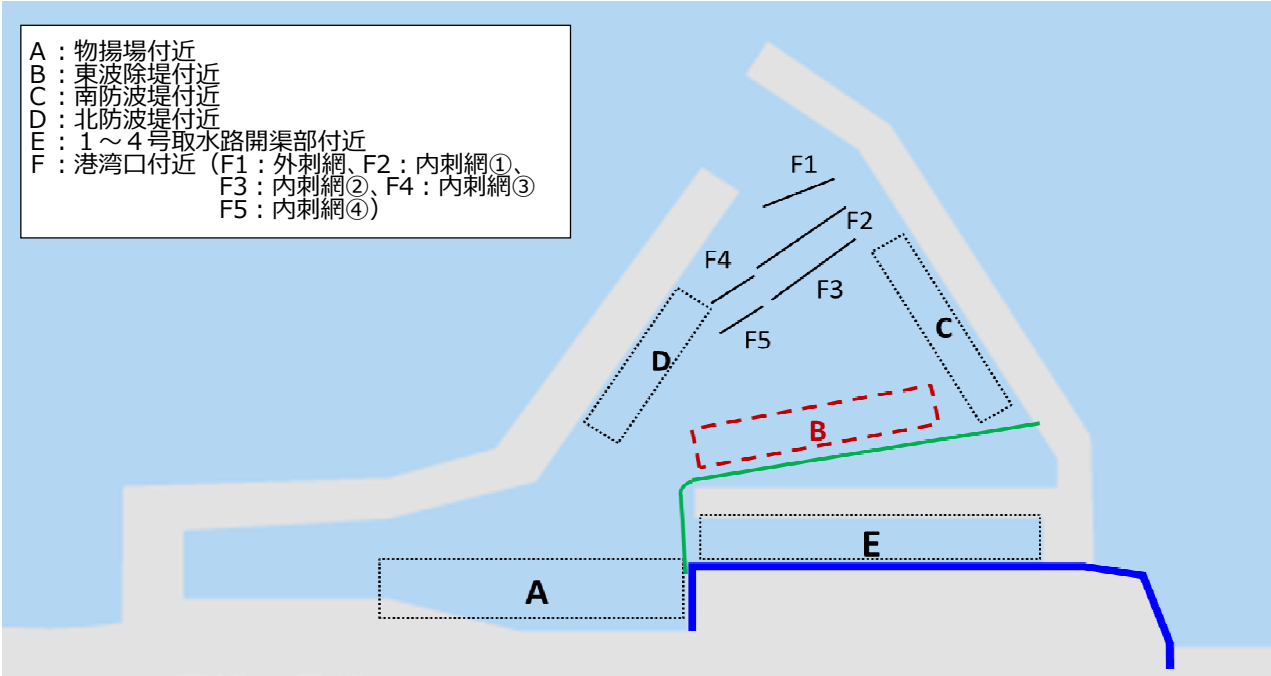


B. 東波除堤付近（網掛けは前回報告からの追加データ）

捕獲日	捕獲方法	捕獲魚類数 (匹)	試料名	Cs濃度（Bq/kg（生））			全長 (cm)	体重 (kg)
				Cs-134	Cs-137	Cs合計		
2022年度	底刺し網漁,かご網漁,はえ縄	451	ムラソイ	50	1,600	1,650	31.0	0.638
2023年度	底刺し網漁,かご網漁,はえ縄	394	クロソイ	16	750	766	29.0	0.326
2024年度	底刺し網漁	156	スズキ	ND(2.4)	24	24	69.0	2.595
2025年4月	底刺し網漁	3	アイナメ	ND(2.2)	22	22	34.0	0.520
2025年5月	底刺し網漁	22	スズキ	ND(2.2)	4.6	4.6	35.0	0.410
2025年6月	底刺し網漁	13	スズキ	ND(2.2)	3.6	3.6	56.0	1.725
2025/7/4	底刺し網漁	1	クロダイ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/7/11	底刺し網漁	1	ボラ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁	1	ウミタナゴ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁	1	スズキ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/7/14	底刺し網漁	1	コノシロ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁	1	ウミタナゴ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/7/15	底刺し網漁	1	コノシロ	ND(3.0)	6.1	6.1	28.5	0.200
	底刺し網漁	1	マゴチ	ND(3.1)	13	13	35.0	0.265
2025/7/18	底刺し網漁	1	マルタ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/8/1	底刺し網漁	1	スズキ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/8/8	底刺し網漁	1	マコガレイ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/8/13	底刺し網漁	1	ヒラメ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/8/29	底刺し網漁	1	スズキ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁	1	コノシロ	試料損傷のため測定対象なし				
2025年9月		0	試料採取無し					

※NDは検出限界値未満、括弧内は検出限界値

魚類捕獲場所



B. 東波除堤付近

- ・移動防止のため網は常時設置しているが、試料採取のため、刺し網を揚げる回数を週3回としている。
- ・底刺し網(カレイ網(4.5寸目)、メバル網(2.5寸目)、多重網(2.5寸目,4.5寸目))：3回/週



C. 南防波堤付近（網掛けは前回報告からの追加データ）

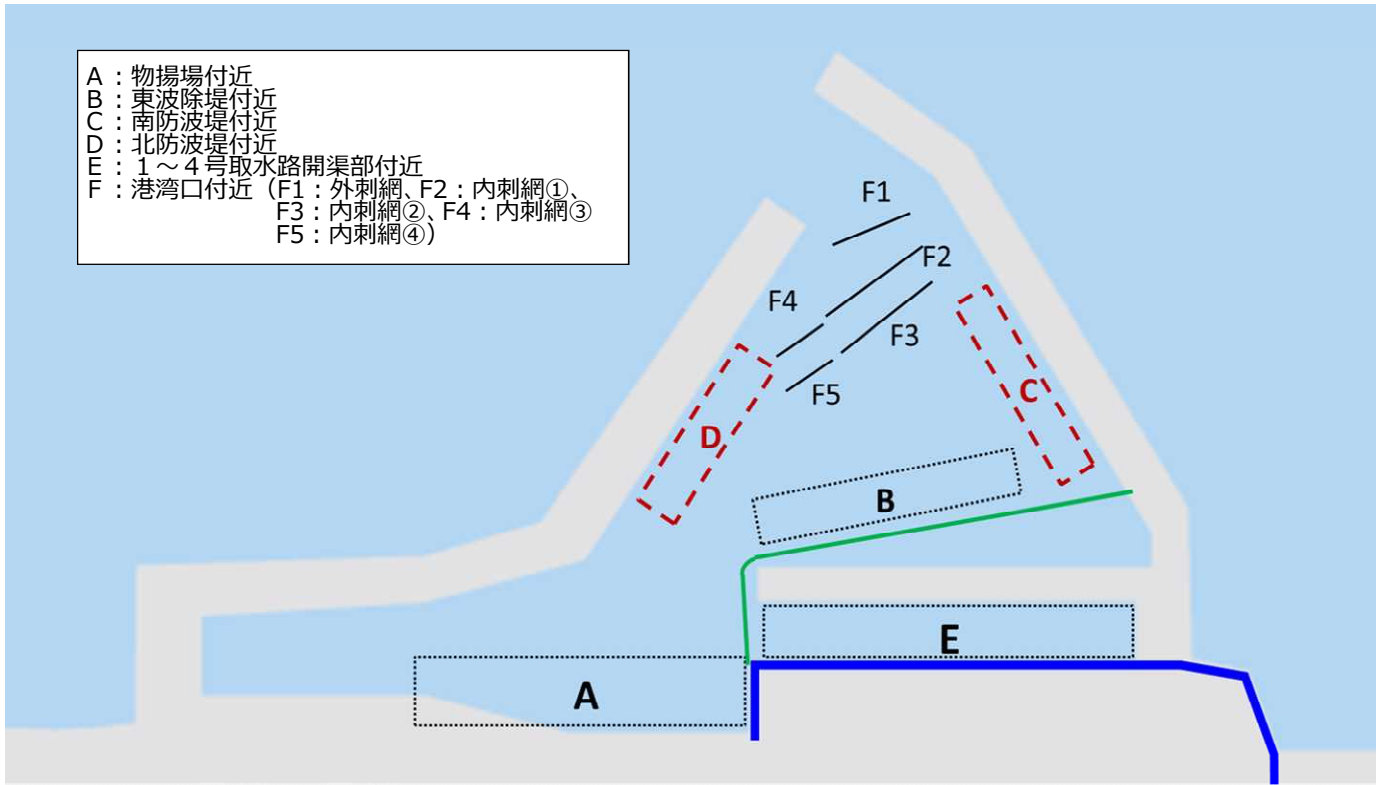
捕獲日	捕獲方法	捕獲魚類数 (匹)	試料名	Cs濃度 (Bq/kg (生))			全長 (cm)	体重 (kg)
				Cs-134	Cs-137	Cs合計		
2022年度	底刺し網漁, かご網漁	164	タケノコメバル	ND(2.5)	54	54	41.5	1.122
2023年度	底刺し網漁, かご網漁	115	ボラ	ND(3.4)	150	150	37.5	0.506
2024年度	底刺し網漁, かご網漁	44	ムラソイ	ND(3.1)	46	46	24.5	0.270
2025年4月	底刺し網漁	1	ボラ	試料損傷のため測定対象なし				
2025年5月	底刺し網漁	1	ヒラメ	試料損傷のため測定対象なし				
2025年6月		0	試料採取無し					
2025年7月		0	試料採取無し					
2025年8月		0	試料採取無し					
2025年9月		0	試料採取無し					

D. 北防波堤付近（網掛けは前回報告からの追加データ）

捕獲日	捕獲方法	捕獲魚類数 (匹)	試料名	Cs濃度 (Bq/kg (生))			全長 (cm)	体重 (kg)
				Cs-134	Cs-137	Cs合計		
2022年度	底刺し網漁, かご網漁, はえ縄	348	マコガレイ	9.3	430	439.3	38.0	0.610
2023年度	底刺し網漁, かご網漁, はえ縄	310	スズキ	9.4	470	479.4	42.5	0.630
2024年度	底刺し網漁, かご網漁, はえ縄	111	ムラソイ	ND(2.6)	32	32	25.5	0.350
2025年4月	底刺し網漁, かご網漁	4	エゾイソアイナメ	ND(4.1)	64	64	24.6	0.120
2025年5月	底刺し網漁	3	コシロ	ND(3.2)	4.6	4.6	26.0	0.185
2025年6月	底刺し網漁, かご網漁	6	エゾイソアイナメ	ND(3.1)	30	30	30.0	0.270
2025/7/4	底刺し網漁	1	ボラ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/7/10	かご網漁	1	コウイカ	ND(3.1)	ND(2.2)	ND	37.2	0.360
	かご網漁	1	コウイカ	ND(2.7)	ND(2.3)	ND	32.0	0.320
	かご網漁	1	コウイカ	ND(2.7)	ND(2.3)	ND	36.5	0.245
	かご網漁	1	コウイカ	ND(2.9)	ND(2.4)	ND	33.0	0.230
2025/7/11	底刺し網漁	1	コシロ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁	1	ウミタナゴ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/8/21	かご網漁	1	マダコ	ND(2.6)	ND(2.0)	ND	55.0	0.720
2025/9/2	底刺し網漁	1	カンバチ	ND(3.3)	ND(2.4)	ND	27.0	0.225
2025/9/4	はえ縄漁	1	マゴチ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/9/4	かご網漁	1	マダコ	ND(2.1)	ND(2.0)	ND	47.0	0.805

※NDは検出限界値未満、括弧内は検出限界値

魚類捕獲場所



C. 南防波堤付近

- ・移動防止のため網は常時設置しているが、試料採取のため、刺し網を揚げる回数を週3回としている。
- ・底刺し網(カレイ網(4.5寸目))：3回/週、かご網：1回/週

D. 北防波堤付近

- ・移動防止のため網は常時設置しているが、試料採取のため、刺し網を揚げる回数を週3回としている。
- ・底刺し網(カレイ網(4.5寸目))：3回/週、かご網：1回/週、はえ縄：1回/2週

E. 1～4号取水路開渠部内（網掛けは前回報告からの追加データ）

捕獲日	捕獲方法	捕獲魚類数 (匹)	試料名	Cs濃度 (Bq/kg (生))			全長 (cm)	体重 (kg)
				Cs-134	Cs-137	Cs合計		
2022年度	かご網漁	13	ウナギ	48	1,700	1,748	71.0	0.618
2023年度	かご網漁	21	クロソイ	380	18,000	18,380	30.5	0.384
2024年度	かご網漁	1	マハゼ	重量不足のため測定対象なし				
2025年4月		0	試料採取無し					
2025年5月		0	試料採取無し					
2025年6月		0	試料採取無し					
2025年7月		0	試料採取無し					
2025年8月		0	試料採取無し					
2025年9月		0	試料採取無し					

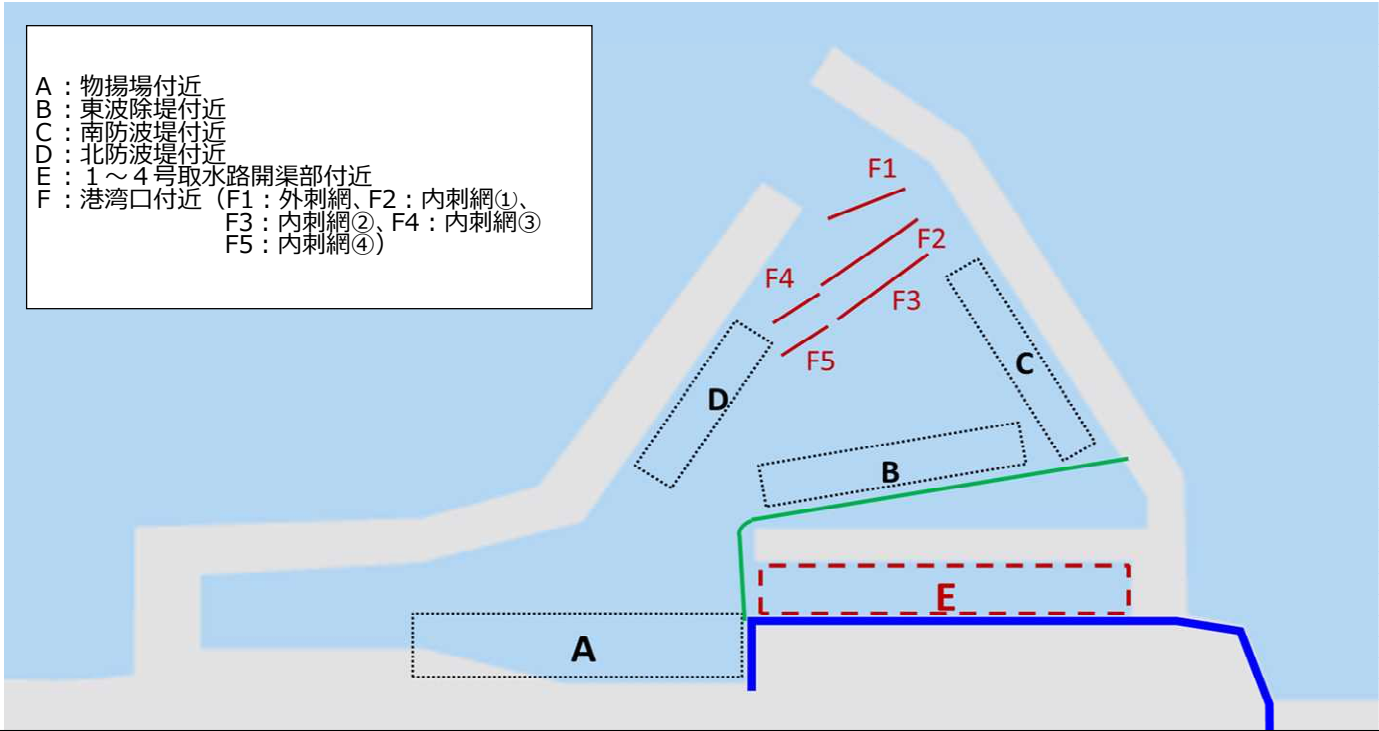
F. 港湾口付近（網掛けは前回報告からの追加データ）

捕獲日	捕獲方法	捕獲魚類数 (匹)	試料名	Cs濃度 (Bq/kg (生))			全長 (cm)	体重 (kg)
				Cs-134	Cs-137	Cs合計		
2022年度	底刺し網漁(F)	331	ムラソイ	4.2	180	184.2	36.0	0.936
2023年度	底刺し網漁(F)	250	マコガレイ	20	890	910	39.5	0.558
2024年度	底刺し網漁(F)	94	マコガレイ	ND(2.3)	47	47	38.0	0.500
2025年4月	底刺し網漁(F)	4	マコガレイ	ND(2.0)	10	10	39.0	0.795
2025年5月	底刺し網漁(F)	7	マゴチ	ND(2.6)	ND(2.0)	ND	56.0	1.170
2025年6月	底刺し網漁(F)	10	コノシロ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/7/9	底刺し網漁(F5)	1	スズキ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/7/16	底刺し網漁(F3)	1	スズキ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁(F4)	1	マコガレイ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/8/27	底刺し網漁(F2)	1	スズキ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁(F3)	1	ホシガレイ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/9/3	底刺し網漁(F3)	1	ボラ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁(F3)	1	マゴチ	試料損傷のため測定対象なし				
2025/9/10	底刺し網漁(F3)	1	マゴチ	試料損傷のため測定対象なし				
	底刺し網漁(F4)	1	マコガレイ	ND(2.2)	13	13	43.5	1.430
2025/9/17	底刺し網漁(F5)	1	ヒラメ	ND(2.7)	ND(2.6)	ND	46.0	0.920
2025/9/24	底刺し網漁(F2)	1	マアナゴ	試料損傷のため測定対象なし				

※NDは検出限界値未満、括弧内は検出限界値

捕獲魚類数合計	約 9,990	(2012年度に捕獲した829匹を含む)
---------	---------	----------------------

魚類捕獲場所



E. 1～4号取水路開渠部内

- ・試料採取を目的に網等を設置しているが、港湾とは仕切られているため陸上から実施できるかご網とアナゴ筒を採用。
- ・かご網：1回/週、アナゴ筒：1回/2週（仕掛けは常時設置）

F. 港湾口付近

- ・主に港湾内外の魚の移動防止を目的に網を設置しているため、大型船舶航行時以外は常時設置とし、網を揚げる頻度も週1回としている。
- ・底刺し網(外刺網：スズキ網(4.5寸目)1枚、内刺網：カレイ網(4.5寸目)2枚、メバル網(2.5寸目)2枚)：1回/週。

#### IV. 福島第一原子力発電所港湾魚類対策（実施状況）



##### ○港湾口底刺し網の実施状況（凡例 ）

- ・5地点を船舶の通行時及び週1回実施(2022年2月21日から追加)

外網：スズキ網（目合い4.5寸）

内網①、④：カレイ網（目合い4.5寸）、内網②、③：メバル網（目合い2.5寸）

##### ○港湾内底刺し網の実施状況（凡例 ：集魚灯 ：多重網 6地点：3回/週）

- ・2022年4月(1地点)、2024年4月(4地点)に集魚灯を設置

##### ○港湾内かご網の実施状況（凡例 ：かご網（25個） ：大型かご網（1個） 1回/週）

- ・2024年11月21日から集魚灯を設置

##### ○港湾内はえ縄及びアナゴ筒の実施状況（凡例 ：アナゴ筒（12個） ：はえ縄 1回/2週）

- ・はえ縄を設置(1地点)（2022年7月28日設置）

- ・アナゴ筒を設置(12地点)（2025年4月24日設置）


##### ○魚類移動防止網の設置箇所（凡例 ：南防波堤付近 ：東波除堤付近）

- ・東波除堤魚類移動防止網リブレース（2024年3月4日完了）

##### ○シルトフェンスの設置箇所（凡例 ：物揚場 ：1～4号機開渠内）

##### ○港湾口ブロックフェンスの設置箇所（凡例 ）

##### ○1～4号機開渠魚類移動防止網の設置箇所

- ・開渠出口の魚類移動防止網の網目微細化（凡例  ）（2023年9月1日網設置）

##### ○港湾内の追加魚類対策について

- ・1～4号機取水路開渠の再被覆工事（2024年6月13日完了）

- ・従来より小さな魚や損傷魚のうち状態の良い魚を分析開始。（2025年2月より）